

令和5年度 墨田区立隅田小学校 経営報告書

校長 浮津 あゆみ

学校目標	<p>人権尊重の精神を教育活動の基盤として、「学び合い、支え合い、共にかがやく隅田の子」を重点目標とし、児童に生きる力を育む。</p> <p>次の教育目標を掲げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自分の思いや考えがもてる子ども ○思いやりの心がある子ども ○心と体をきたえる子ども
目指す学校像	<p>「明るく、楽しく、温かく、明日も行きたくなる学校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが夢をもち、意欲的・主体的に学ぶ学校 ・互いに思いやりの気持ちをもち、集団のルールを守る規律ある学校 ・子どもの居場所を、学校・保護者・地域が協力・協働してつくる学校
目指す子供像	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え やり抜く子 ・互いに認め合い 高め合う子 ・健康で安全な生活を心がけ 進んで体をきたえる子
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のよさを伸ばし、分かる授業・楽しい授業を追求する教師 ・一人一人の思いを受け止め、教え導く教師 ・保護者、地域と連携し、よりよい学びの場を創造し、信頼される教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
各教科等指導等	○確かな学力を育てるための、分かりやすい授業実施等 ①分かる、できる授業の実施。	4	4	○タブレット端末を活用した授業を80%以上で実施した。児童アンケートでは、96%の児童が、授業が分かりやすいと回答している。	A	A
	②基礎的・基本的な学力の向上に組織的に取り組む。	3	3	○校内学力向上委員会を中心に基礎的・基本的な学力の向上に取り組んだ。年3回の校内漢字計算テストに向け、基礎学力の向上に全校で取り組んだ。	A	A
	③言語活動の充実を図る。	2	4	○言語力の向上をめざし、読書活動にも力をいれ、児童一人当たりの貸出冊数は昨年度より5冊増加した。 ・タブレット端末の効果的な活用についてさらに授業研究等で追究することや、語彙力の向上をめざし、読書活動を更に推進する。	B	A
	○特別な支援を必要とする児童に対して組織的な支援等を行う。	3	3	○特別支援教育の理解を深める研修を3回実施した。特別支援委員会を定期的の実施し各学級の情報共有、支援体制の確認等を行った。 ・巡回指導教員との連携をさらにすすめていく。	B	A
	教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等 ①主体的で対話的で深	3	3	○「自分の思いや考えを共有し分かりやすく表現できる児童の育成」を研究主題にして、8回の研究授業を実施した。また、日常の授業力向上を図るために、OJTによる授業研	B	A

様式 4

い学びの実現に向けた授業改善に取り組む			究を年3回実施し各グループの課題について研究を行った。 ・校内研究を実施し、児童につけたい力がさらに明確になった。情報整理力の向上について来年度の研究テーマに反映させていく。		
学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	タブレット端末の導入により児童の学習内容理解度が向上したことはとてもよいと感じた。その反面、語彙力が低下に向かうことへの不安を感じる。その対策として読書賞を設定し全校児童の前で表彰したり旬間期間を設定したりして読書活動に力を入れる取組を実施しているのはよいと思う。				

項目	取組目標	自己評価			学校関係者評価	
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
生活指導等	○問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等 ①いじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期対応を組織的に行う。	3	4	○いじめの予防に向け年間3回の授業を確実に実施した。いじめに関するアンケートを3回実施し、早期発見・早期解決に努めた。 ○不登校傾向の児童に対し、不登校委員会で対応策の検討を進めることと、担任を中心に繋がりを保つことを第一に対応した。 ・不登校の早期発見を重点とし、欠席1日目の過程との連携を強化する。	A	A
	基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等 ①挨拶ができる児童の育成を図る。	3	3	○校長講話、通年での挨拶指導、年3回の挨拶キャンペーン運動で校内での挨拶はよくなっている。交通当番の保護者への挨拶をする児童が少ない。 ・学級指導等で保護者への挨拶を呼びかけるとともにPTAと協力して挨拶運動を強化する。	B	B
	安全を確保するための取組等 ・地震等の災害、不審者等からの危険回避能力の育成、安全対策や点検の徹底を行う。	3	3	○地震、火災、不審者を想定した避難訓練、引き取り訓練を確実にを行った。 ・従来の避難訓練だけでなく、より現実を帯びた訓練を計画する。防火扉始動時や屋上避難などを新規に実施する。	A	A
	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	・シャボテンログなどで子供たちが先生へ話したいことなどをタブレット上で依頼できるのは、プライバシーが守られてよい。欠席した場合も先生から連絡をもらうことができている、子供のことを気に掛けてくれることが有り難いと感じる。				

項目	取組目標	自己評価			学校関係者評価	
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
学校の管理	子供の実態に合わせた教育目標設定及び評価等 ・経営方針提示、全体への説明、進行管理日常場面での具体的指導・助言を行い学校運営に努める。	4	4	○週1回の企画会議、週2回の夕会、運営委員会、職員会議などを確実に行った。各会議議事録はICTを活用し教員全員が確認できるようにした。報告、連絡、相談は迅速に行い、課題解決を組織的に迅速に行えるようにした。 ・ICTを活用し、迅速性をさらに高めていく。	A	A

様式 4

運 営	教育環境・設備等の整備状況等 ○落ち着いて学校生活を過ごすことができる環境を整える。	4	3	○大型電子黒板が導入され、学習に対する教育設備環境が格段に向上した。設備の安全点検を確実にし、教育環境の充実に努めた。 ・オープンな教育環境をさらに充実させるために、整理整頓に努めていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	きれいな学校、広い校庭で学習や活動を行えるのは、大変幸せである。校長先生、副校長先生を中心に組織だった運営がされていると思う。先生同士のまとまりを感じることができる。				

項目	取組目標	自己評価		学校関係者評価		
		達成状況		○分析 ・改善方策	自己評価について	改善策について
		取組指標	成果指標			
家 庭 ・ 地 域 連 携	教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等	3	2	○週1回ホームページを更新した。学校からのお知らせ等は主としてデジタル配信とし、いつでも見られるようにした。学校公開、個人面談、体育学習発表会、学習発表会を実施し、日頃の学習の様子や成果を伝えた。近隣中学校との行事が重なることがあった。 ・桜堤中学校地区との行事調整会議を実施し令和6年度については行事日程について情報共有を行い調整する。	B	A
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等	3	4	○集団登校を通年で実施できるようになった。制限なく行事を実施することができ、学校教育活動に参加していただく機会が増え、90%以上の肯定的意見を得た。	A	A
	学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等	・集団登校があることで、高学年の児童に連れて行ってもらえる安心感を、降格年の児童にとってはリーダーとしての責任感をもつ一つのよい機会になると考える。				

2 令和5年度学校評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開や体育学習発表会や学習発表会などで子供たちの頑張っている姿や作品を保護者に見ていただくことができた。 ・学力向上に力を入れ効果が上がってきている。タブレットを活用した取組により分かりやすい授業を実践できていることが分かった。思考力、表現力などの向上に向けタブレット端末の効果的な活用方法を追究していくとともに、語彙力の向上に向け、引き続き努力していく。 ・挨拶指導に繰り返し取り組み、校内での挨拶は活発になってきた。保護者アンケートでは7割強の肯定的意見を得ることができた。地域の方々からは挨拶がよくなってきたと評価をいただいている。来年度は校内だけでなく、地域の方々にも進んで挨拶ができるように指導していく。 ・よい教育環境の下、チーム隅小として児童の育成に真摯に向き合ってきている。今後も一人一人の児童としっかりと向き合っていく。

以上の通り報告いたします。

墨田区立隅田小学校 校長 浮津 あゆみ 公印